

放電検出ユニット *Spartect* スパークテクト

電気火災に
つながる
火花放電を
検出!

NEW

新機能追加



分電盤取付タイプ

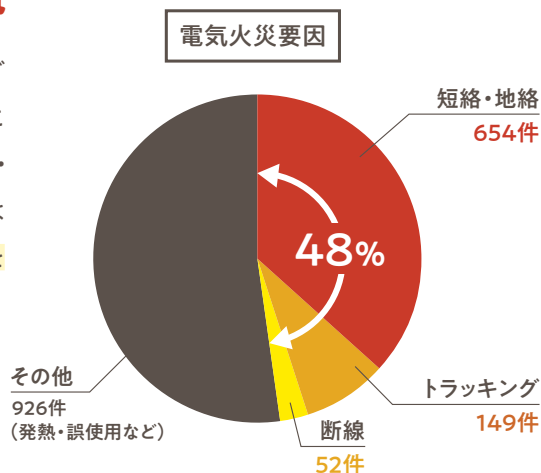


コンセントタイプ



電気火災要因の48%を占める火花放電

電気火災要因として代表的なものが「火花放電」です。電源プラグとコンセントの間にたまったホコリに湿気が加わることで発火に至るトラッキングも、火花放電の一つです。トラッキング、断線、短絡・地絡などによる火花が原因となり、火災に至るケースが最近では電気火災の40%を超えています。そこで日東工業は、火花放電を検出できれば電気火災を減らせるのではないかと考えました。

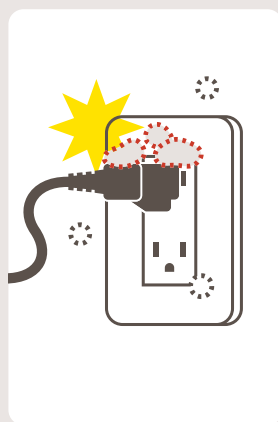


[電気火災の要因] 出典:東京消防庁
令和7年(2024年度の統計) P.116~117 表3-6-2 電気設備機器による発火源と経過
(<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/content/000094876.pdf>)

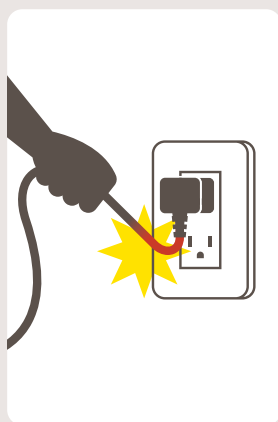
●火花放電の発生要因

普段は何気なく使っている電気機器ですが、不適切な扱いや経年劣化などで電気火災を引き起こしかねません。

トラッキング

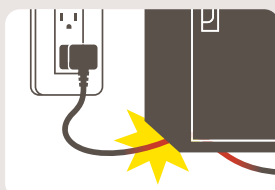


ホコリが吸湿



ムリな引っ張り

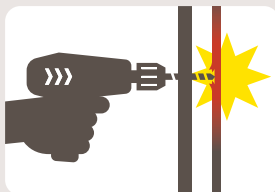
短絡・断線



家具・備品の下敷き



電化製品のコードのねじれ

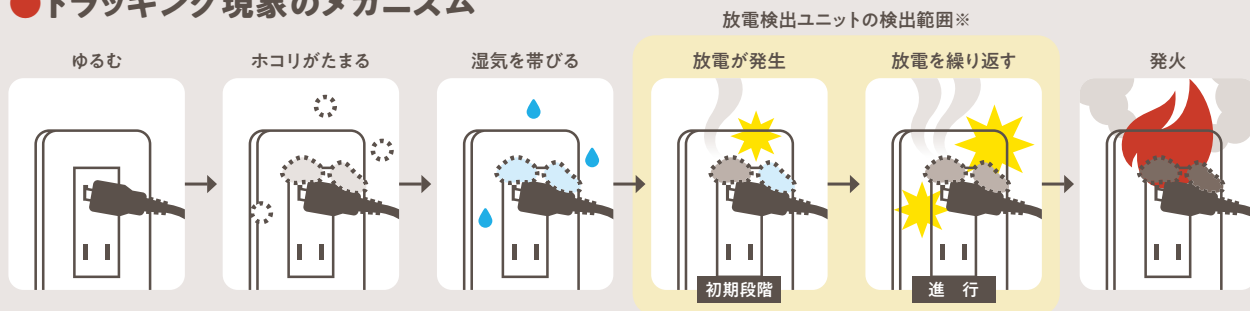


施工時のケーブル損傷



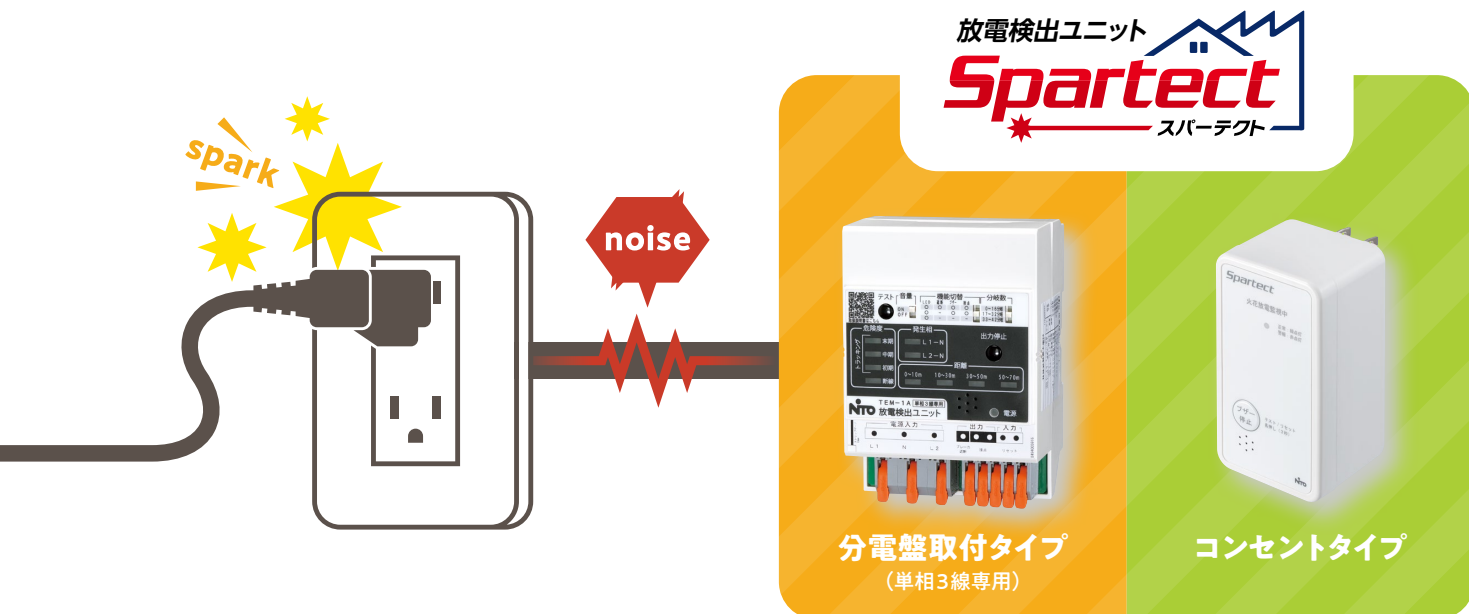
束ねた電源ケーブル類

●トラッキング現象のメカニズム



※放電検出ユニット(スーパーテクト)はトラッキング現象で生じる火花放電を初期段階から検出するため、放電の痕跡が残っていない場合があります。

放電検出ユニットは火花放電のノイズを監視



独自技術で電気火災の未然防止に貢献

日東工業はさまざまな実験・研究によって、トラッキングなどの火花放電には特有の高周波ノイズが発生することを解明しました。さらに、あらゆる家電製品のノイズを測定・分析し、**火花放電のノイズを検出する精度の高い技術を確立**。電気火災の未然防止をめざして、放電検出ユニット「スパークテクト」の開発を進めてきました。

●ブレーカなどの動作レベルより小さな火花放電を検出

電気火災の要因を小さいレベルで捉え、火災に発展する危険性を低減します。



アレレ…
見つかっ
ちゃった



検出時にお知らせ

火花放電を検出したら、
ブザーと**LED**でお知らせします。

メール通知も可能

接点監視装置とつなぎ、メールなどで通知できます。

■簡単にメール通知システムを構築できる接点監視ユニット
(エーシグ モバイル[AS-CMU])をご用意しています。

接点監視ユニット
エーシグ モバイル[AS-CMU]



検出時に自動遮断



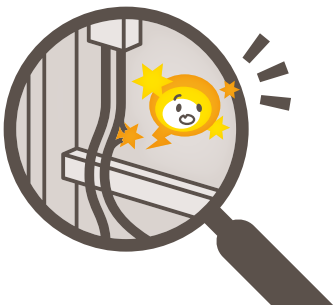
火花放電検出時に漏電ブレーカを自動遮断することができます。

- 工場出荷時はブレーカ遮断機能OFF→必要に応じてONにしてください。(注)
- 自動遮断機能はコンセントタイプには付いていません。

ご注意

ブレーカ遮断機能を使用する場合、生命の維持に直結するような医療機器などへの影響が考えられるため、ご使用にはご注意ください。また、夜間などにブレーカ遮断機能が動作した場合、照明が確保できない可能性があります。停電時にも使用可能な足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備してください。ブレーカ遮断機能がOFFの場合、電路を遮断しないため、火花放電が継続すると火災につながる可能性があります。

見えないところの火花放電も検出



コンセントのみを対象にしたトラッキング対策とは異なり、ノイズに反応する放電検出ユニット「スパークテクト」は、**コンセントやコードはもちろん、壁内配線など“目視できない箇所”**で発生した火花放電も検出できることが特長です。築年数の経った建物など、壁内配線の劣化が心配なところでは放電検出ユニット「スパークテクト」の設置が効果的です。

●火花放電を検出したら、原因の特定を

火花放電を検出した際は、ブザーを停止後、「放電検出時の対応マニュアル」に従って原因の特定を行ってください。

コンセントや配線などに
異常がないかをチェック

- ✓コンセントの汚れ、ほこり
- ✓変色や焦げ
- ✓焦げた臭いなどの異臭
- ✓電源コードのやぶれ、亀裂
- ✓コードが家具など重量物の下敷き

異常を取り除く

放電検出ユニットが
検出動作しないことを確認

異常箇所が
見つけれない

しばらく
様子を見る

警報LEDが点滅(点灯とは異なる)
であれば、火花放電は終息している

繰り返し
発報する

販売店または施工業者
などへ連絡を

■機種ごとの対応マニュアルはこちらをご確認ください。

分電盤取付タイプ
(単相3線専用)
TEM-1A



分電盤取付タイプ
(単相2線専用)
TEM-2



分電盤取付タイプ
(三相3線専用)
TEM-3



コンセントタイプ
TEM-P1



スパークテクト 資料

検索

機種ごとの対応マニュアルは、スパークテクトWebサイトの「資料ダウンロード」より「製品別の取扱説明書や図面など」にてご確認ください。

分電盤取付タイプ

(単相3線専用)



→ 詳細は7頁参照

分電盤取付タイプ

(単相2線専用)



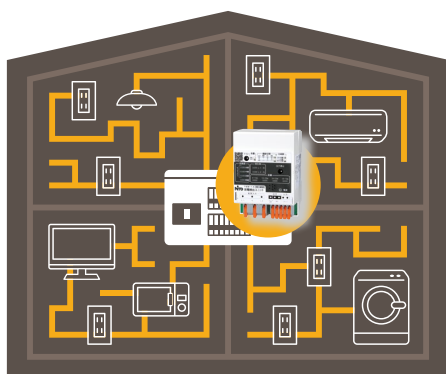
■ 別途お問合わせ
ください。

基本仕様

品名	放電検出ユニット (単相3線専用)	放電検出ユニット (単相2線専用)
品名記号	TEM-1A	TEM-2
基本動作	火花放電を検出し、下記動作を行います。 ・LEDによる警報表示 ・ブザー鳴動 ・接点出力 ・ブレーカ遮断	
定格電圧	単相3線式 (AC100/200V) (変動範囲85 ~ 110%) 50/60Hz	単相2線式 (AC100V) (変動範囲85 ~ 110%) 50/60Hz
適合コンセント	—	—
検出距離	配線長: 最大70m※1 ・検出距離は使用環境によって変化します。	配線長: 最大70m※2 ・検出距離は使用環境によって変化します。
ブザー	火花放電検出時または異常検出時に鳴動 音量: ON (約65dB) / OFFの切替可能 (工場出荷時: ON)	火花放電検出時または電圧低下異常時に鳴動 音量: 大 (約65dB) / 小 (約50dB) / 切の切替可能 (工場出荷時: 大)
LED表示	〈電源LED〉 正常: 緑点灯 (電源ON) 異常: 緑点滅 (誤配線・電圧低下異常) 橙点滅 (電波周波数異常・負荷ノイズあり※3) 赤点灯 (機器異常)※4 〈発生相LED〉 警報: 橙点灯 (火花放電検出中) 履歴: 橙点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※5 〈危険度LED〉 表示: 橙点灯 (トラッキング初期・中期・末期、断線) 〈距離LED〉 表示: 橙点灯 (0~10m、10~30m、30~50m、50~70m)	〈電源LED〉 正常: 緑点灯 (電源ON) 異常: 緑点滅 (電圧低下異常) 〈警報LED〉 警報: 赤点灯 (火花放電検出中) 履歴: 赤点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※5
リセット入力	火花放電の検出による各出力 (ブザー鳴動、接点出力、ブレーカ遮断出力) を停止します。 無電圧a接点 (微小負荷用) 最小入力幅: 100ms 端子間電圧: DC5V 端子間電流: 5mA	—
接点出力	無電圧a接点 DC30V 1A	無電圧a接点 DC30V 1A
ブレーカ遮断	擬似漏電方式 感度電流200mA以下の漏電ブレーカを遮断します。(時延形には非対応) ブレーカ遮断のON/OFFが	
使用環境	温度: -5 ~ +40℃ ただし氷結なきこと (24時間の平均が35℃を超えない) 湿度: 45 ~ 85%RH ただし結露なきこと	
外形寸法	ヨコ: 75mm × タテ: 107mm × フカサ: 65mm	
質量	約0.3kg	
消費電力	約2W	約3W
交換推奨時期	10年~13年	
納期区分	◎	納期・価格については別途お問合わせください。
標準価格 円	56,500	

※1.弊社製住宅用分電盤分岐42回路に搭載し、負荷および電路上の分岐がない回路においてトラッキングが発生した場合。 ※2.負荷、分岐のない単一回路でトラッキングが発生
 ※4.テストボタン押下時に判定。 ※5.火花放電終息後30分間は、再検出しても検出回数を1回とカウントします。

建物全体を監視



分電盤取付タイプ

(単相3線・単相2線専用)

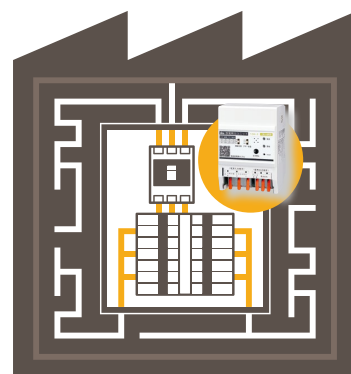
分電盤に内蔵し、1か所から屋内の
配線をまるごと監視できます。※6

※6.戸建住宅の4LDK(130平米)程度を想定。

火花放電の検出時にブレーカを自
動遮断。火花放電を抑制し、電気
火災を未然に防止します。

検出距離 最大 **70m** (配線長)

盤内を監視

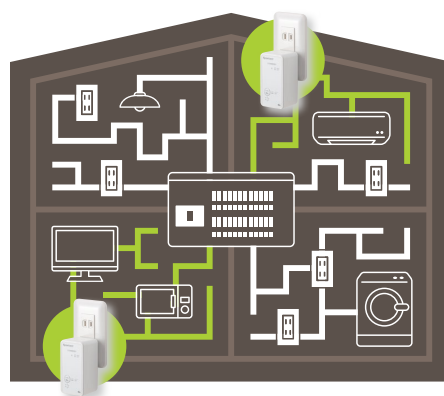


分電盤取付タイプ (三相3線専用)		コンセントタイプ	
 ■別途お問合わせ ください。		 ➡詳細は11頁参照	
放電検出ユニット (三相3線専用)		放電検出ユニット (コンセントタイプ)	
TEM-3		TEM-P1	
火花放電を検出し、下記動作を行います。 ・LEDによる警報表示 ・ブザー鳴動 ・接点出力		火花放電を検出し、下記動作を行います。 ・LEDによる警報表示 ・ブザー鳴動 ・接点出力	
三相3線式 (デルタ結線) AC200V (変動範囲85~110%) 50/60Hz		AC100V (変動範囲85-110%) 50/60Hz	
—		家庭用コンセント (AC100V)	
配線長：最大5m (分電盤内で火花放電が発生した場合) ・検出距離は使用環境によって変化します。		配線長：最大30m※2 ・検出距離は使用環境によって変化します。	
火花放電検出時または電圧低下異常時に鳴動 音量：大 (約65dB) / 小 (約50dB) / 切の切替可能 (工場出荷時：大)		火花放電検出時または異常検出時に鳴動 音量：ON (約65dB) / OFFの切替可能 (工場出荷時：ON)	
〈電源LED〉 正常：緑点灯 (電源ON) 異常：緑点滅 (電圧低下異常)※3 〈警報LED〉 警報：赤点灯 (火花放電検出中) 履歴：赤点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※5		正常：緑点灯 (電源ON) 警報：赤点灯 (火花放電検出中) 履歴：赤点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※5 異常：橙点灯 (機器異常) 緑点滅 (電圧低下異常)	
—		—	
無電圧a接点 AC200V 1A / DC30V 1A		無電圧a接点 DC30V 0.1A	
切替可能 (工場出荷時：OFF)		—	
こと)		温度：-5 ~ +40℃ ただし氷結なきこと (24時間の平均が35℃を超えないこと) 湿度：45 ~ 85%RH ただし結露なきこと	
		ヨコ：50mm×タテ：95mm×フカサ：44mm	
		約0.15kg	
約3W		約1W (ブザー鳴動時：約3W)	
		10年~13年	
		◎	
納期・価格については別途お問合わせください。		27,500	

生した場合。 ※3.テスト機能により火花放電を検出できない電路と判定した場合も異常表示となります。

◎物流センター在庫品

重要な回路を監視



分電盤取付タイプ

(三相3線専)

分電盤に内蔵し、盤内の配線を監視できます。

火花放電の検出時にブレーカを自動遮断。火花放電を抑制し、電気火災を未然に防止します。

検出距離 最大 **5m** (配線長)

コンセントタイプ

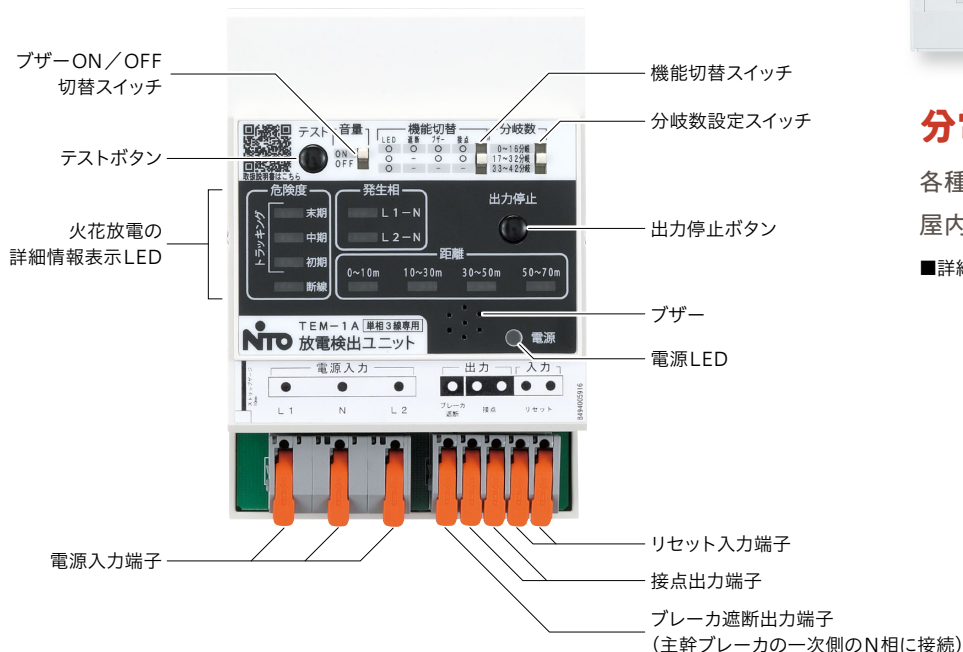
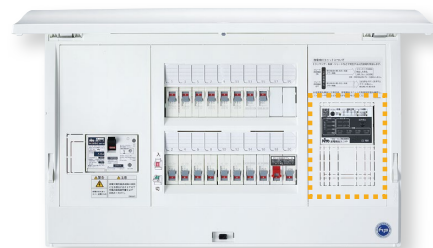
気になる箇所、重要な回路を集中的に監視できます。

部屋ごとに設置し、複数で全体をカバー。火花放電が発生した回路の特定が容易になります。

検出距離 最大 **30m** (配線長)

分電盤取付タイプ

(単相3線専用)



分電盤の機能と連動

各種ブレーカとともに、
屋内配線の安全確保に役立ちます。

■詳細は10頁をご参照ください。

基本仕様

品名	放電検出ユニット スパークテクト 単相3線専用※1
品名記号	TEM-1A
基本動作	火花放電を検出し、下記動作を行います。 ・LEDによる警報表示 ・ブザー鳴動 ・接点出力 ・ブレーカ遮断
定格電圧	単相3線式 (AC100/200V) (変動範囲85 ~ 110%) 50/60Hz※1
検出距離	配線長：最大70m (検出距離は使用環境によって変化します)
ブザー	火花放電検出時または異常検出時に鳴動 音量：ON(約65dB)/OFFの切替可能(工場出荷時：ON)
LED表示	〈電源LED〉 正常：緑点灯 (電源ON) 異常：緑点滅 (誤配線・電圧低下異常) 橙点滅 (電波周波数異常・負荷ノイズあり※2) 赤点灯 (機器異常)※3 〈発生相LED〉 警報：橙点灯 (火花放電検出中) 履歴：橙点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※4 〈危険度LED〉 表示：橙点灯 (トラッキング初期・中期・末期、断線) 〈距離LED〉 表示：橙点灯 (0~10m、10~30m、30~50m、50~70m)

リセット入力	火花放電の検出による各出力 (ブザー鳴動、接点出力、ブレーカ遮断出力) を停止します。 無電圧a接点 (微小負荷用) 最小入力幅：100ms 端子間電圧：DC5V 端子間電流：5mA
接点出力	無電圧a接点 DC30V 1A
ブレーカ遮断	擬似漏電方式 ・感度電流200mA以下の漏電ブレーカを遮断します。 (時延形には非対応) ブレーカ遮断のON/OFFが切替可能(工場出荷時：OFF)
使用環境	温度：-5 ~ +40℃ ただし氷結なきこと (24時間の平均が35℃を超えないこと) 湿度：45 ~ 85% RH ただし結露なきこと
外形寸法	ヨコ：75mm×タテ：107mm×フカサ：65mm
質量	約0.3kg
消費電力	約2W
交換推奨時期	10年~13年

※1.単相2線式と三相3線式も承ります。別途お問い合わせください。
※2.テスト機能により火花放電を検出できない電路と判定した場合は異常表示となります。
※3.テストボタン押下時に判定。
※4.火花放電終息後30分間は、再検出しても検出回数を1回とカウントします。

ご注意

- ①電気器具と可燃物の接触などによる火災は検出できません。
- ②ねじの締め付け不具合による施工不良や電気の使い過ぎによる発熱は検出できません。
- ③使用環境 (負荷・回路数・配線長など) によっては放電ノイズが減衰し、検出距離が短くなるおそれがあります。
- ④雷サージ対応電源タップやノイズフィルタ付電源タップなどが使用された回路は、検出距離が短くなるおそれがあります。
- ⑤火花放電により発生するノイズを検出する商品のため、類似の高周波ノイズが発生する環境では誤検出する可能性があります。
- ⑥アパート、マンションへ設置した場合、隣家のノイズを検出する可能性があります。
- ⑦ブレーカがサーキットブレーカの場合は、ブレーカ遮断機能は使用できません。

取付上のご注意

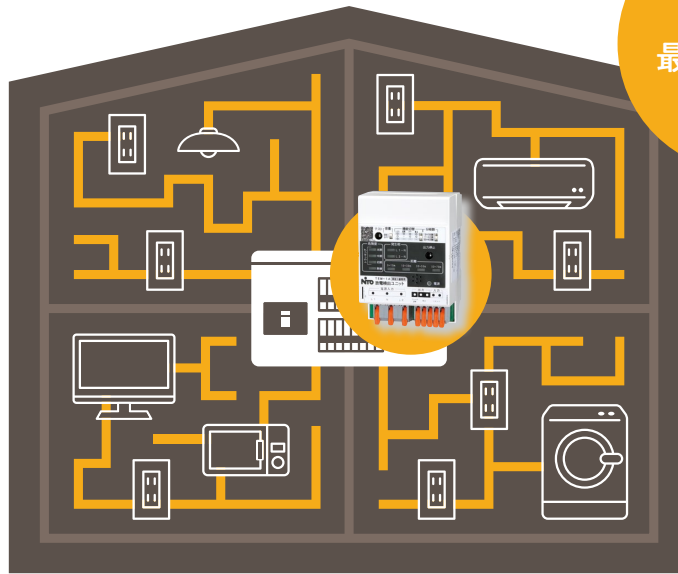
- 取付用部品 (協約形取付台、分岐取付台、IECレール35mm幅 (TH35-7.5)) は付属しておりません。取付方法により必要部品が異なるため、別途ご用意ください。詳細は8頁をご覧ください。
- 取り付けに関しては有資格者をお願いしてください。
- 放電検出増設ユニットを施工する場合は、既設ホーム分電盤から1m以内に配線できるように設置してください。

建物全体を監視

検出距離
最大**70m**
(配線長)

分電盤に内蔵し、**1か所**
から屋内の配線をまる
ごと監視できます。^{※5}

※5.戸建住宅の4LDK(130平米)
程度を想定。



火花放電の検出時にブ
レーカを自動遮断。火花
放電を抑制し、電気火
災を未然に防止します。

基本動作フロー



取付方法 ユニットの取付方法は以下の2通りです。

協約形取付台・分岐取付台の場合	IECレールの場合
取り付け ①ひっかける ②ユニットを押し込む 協約形取付台※7 (品名記号:BP31-K) 取り外し ②引き上げる ①取付ばねを押す 分岐取付台※7 (品名記号:BP31)	取り付け ①ベース側の溝にひっかける ②ユニットを押し込む IECレール35mm幅(TH35-7.5)※7 (品名記号:TB-DR) 取り外し ②引き上げる ①ドライバーでレールホルダーを引き下げる

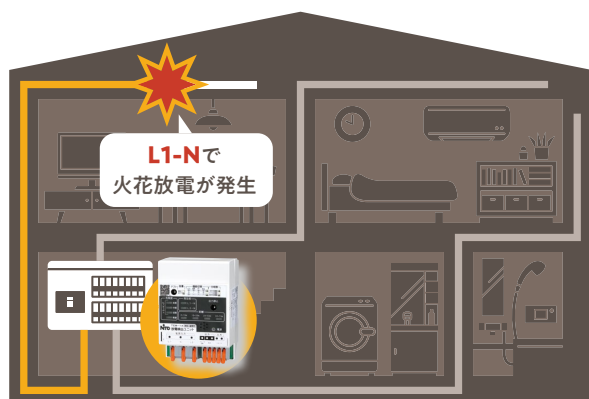
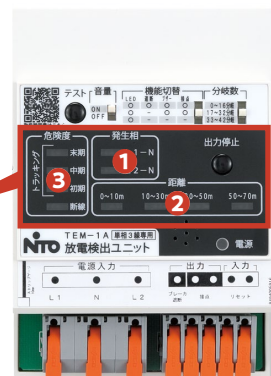
※7.取付用部品は付属しておりませんので、別途ご用意ください。

(単位:mm)

分電盤取付タイプ (単相3線専用)

TEM-1Aの新機能! 「火花放電の詳細情報表示」

火花放電を検出すると、推定した発生状況の詳細をLEDでお知らせします。

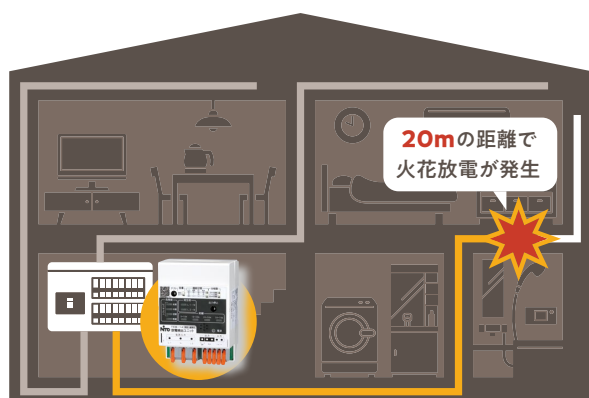
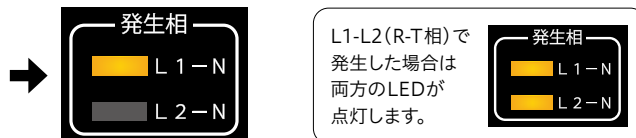


① 発生相表示

L1-N (R-N相)、L2-N (T-N相)、L1-L2 (R-T相)

火花放電が発生している相に対応したLEDが点灯／点滅します。
点灯：火花放電発生中 点滅：火花放電終息後

左図の場合の表示例

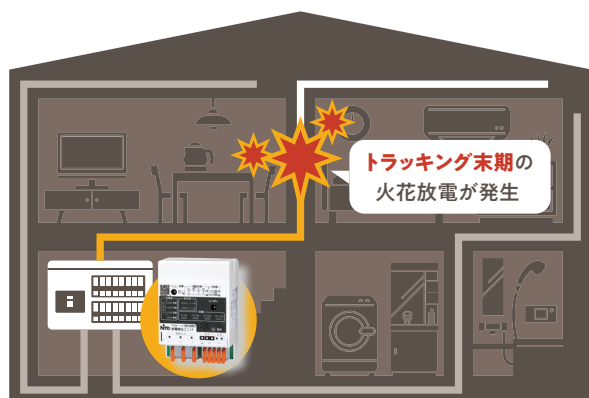


② 発生距離表示

0～10m、10～30m、30～50m、50～70m

本商品から火花放電発生箇所までの推定距離に
対応したLEDが点灯します。

左図の場合の表示例

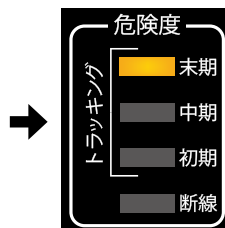


③ 危険度表示

トラッキング初期・中期・末期、断線

火花放電の発生要因・危険度に対応したLEDが点灯します。

左図の場合の表示例



●トラッキングの痕跡から判断する
進行度のイメージ



■トラッキング現象で生じる火花放電を初期段階から検出するため、
放電の痕跡が残っていないことがあります。

■火花放電情報によるLED表示は、検出した火花放電ノイズをもとに推定結果を表示します。
環境や条件により実際の状態と異なる場合があります。

戸建住宅向け設置バリエーション

2026年8月初旬発売予定

・放電検出ユニット付ホーム分電盤 HCD-TEM1A

・放電検出増設ユニット FPCD-TEM1A

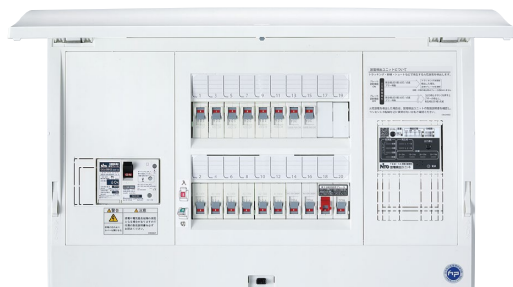
発売開始までは個別対応を含め、従来品 (TEM-1) 搭載品でのご案内となります。

■TEM-1A搭載品をお求めの場合は、ホーム分電盤搭載タイプの発売開始までお待ちください。

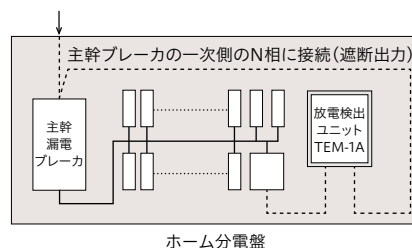
新築用 分電盤に内蔵した一体型。新築時や分電盤交換時に。

放電検出ユニット付ホーム分電盤

HCD-TEM1A



(例) HCD3E6-162TEM1A

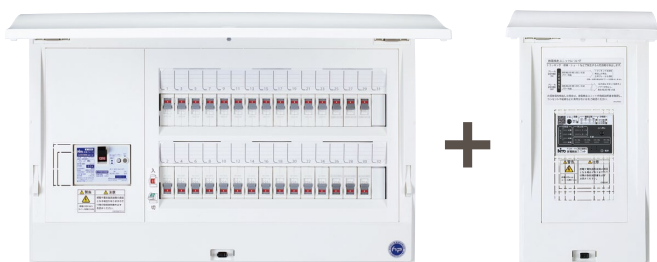


既設用 すでに設置されているホーム分電盤に増設も可能。

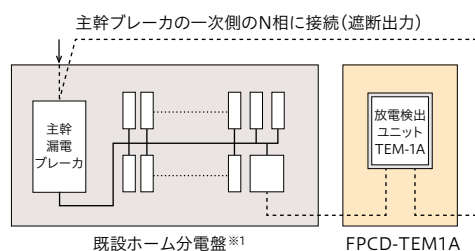
放電検出増設ユニット

既設ホーム分電盤

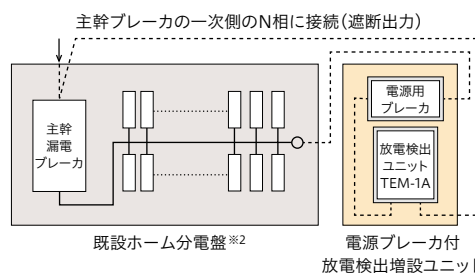
FPCD-TEM1A



●FPCD-TEM1Aの接続方法(例)



●電源ブレーカ付の接続方法(例)



電源用ブレーカ付についても承りますので別途ご用命ください。

電源用ブレーカ 付

電源用ブレーカ 感震ブレーカー 付

電源用ブレーカ



個別受注品

電源用ブレーカ 感震ブレーカー



個別受注品

(感震ブレーカーについては裏表紙をご参照ください)

※1. 放電検出増設ユニットは単相3線の電源が必要です。弊社ホーム分電盤ブチパネル (HCD・HPD・HCB・HPB・HSB・HMB) およびHMDタイプ横型分電盤 (HMD) に増設する場合は、単3分岐回路専用サーキットブレーカ (PN32TA-NS) をご用命ください。

※2. 既設ホーム分電盤に送り端子がある場合 (HCB・HPB・HMB) は、送り端子から電源用ブレーカへ配線してください。既設ホーム分電盤に送り端子がない場合 (HCD・HPD・HSB・HMD) は、分岐部に送り端子台 (TP63) を追加して、電源用ブレーカへ配線してください。



取付上のご注意

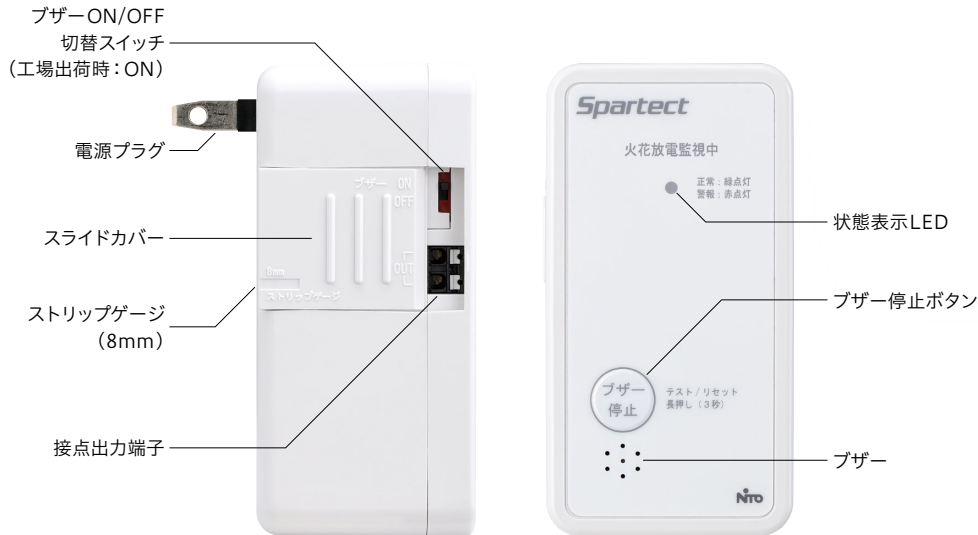
■取り付けに関しては有資格者をお願いしてください。

■放電検出増設ユニットを施工する場合は、既設ホーム分電盤から1m以内に配線できるように設置してください。

コンセントタイプ

電気工事不要!

コンセントに差し込むだけ。
誰でもカンタンに設置できます。



基本仕様



品名	放電検出ユニット スパークテクト コンセントタイプ
品名記号	TEM-P1
基本動作	火花放電を検出し、下記動作を行います。 ・LEDによる警報表示 ・ブザー鳴動 ・接点出力
定格電圧	AC100V (変動範囲85~110%) 50/60Hz
適合コンセント	家庭用コンセント (AC100V)
検出距離	配線長: 最大30m※1 (検出距離は使用環境によって変化します)
ブザー	火花放電検出時または異常検出時に鳴動 音量: ON (約65dB) / OFFの切替可能 (工場出荷時: ON)
LED表示	正常: 緑点灯 (電源ON) 警報: 赤点灯 (火花放電検出中) 履歴: 赤点滅 (火花放電終息後) 検出回数に応じて最大5回※2 異常: 橙点灯 (機器異常) 緑点滅 (電圧低下異常)

接点出力	無電圧a接点 DC30V 0.1A
使用環境	温度: -5 ~ +40℃ ただし氷結なきこと (24時間の平均が35℃を超えないこと) 湿度: 45~85%RH ただし結露なきこと
外形寸法	ヨコ: 50mm × タテ: 95mm × フカサ: 44mm
質量	約0.15kg
消費電力	約1W (ブザー鳴動時: 約3W)
交換推奨時期	10年~13年

※1. 負荷、分岐のない単一回路でトラッキングが発生した場合。

※2. 放電検出終了後30分間は、再検出しても検出回数を1回とカウントします。

納期区分	品名記号	標準価格 円
◎	TEM-P1	27,500

◎物流センター在庫品

ご注意

- ①本商品は壁面コンセントに設置してください。
- ②本商品は100V専用です。200Vコンセントに接続しないでください。
- ③電気器具と可燃物の接触などによる火災は検出できません。
- ④電気の使い過ぎや施工不良による発熱は検出できません。
- ⑤使用環境 (負荷や配線長、コンセント間の渡り配線数など) によっては放電ノイズが減衰し、検出距離が短くなるおそれがあります。
- ⑥雷サージ対応電源タップやノイズフィルタ付電源タップなどが使用された回路は、検出距離が短くなるおそれがあります。
- ⑦火花放電により発生するノイズを検出する商品のため、類似の高周波ノイズが発生する環境では誤検出する可能性があります。
- ⑧本商品は、設置したコンセントから配線長30m以内で発生した火花放電を検出しますが、本商品を設置した分岐回路のみを検出対象としています。

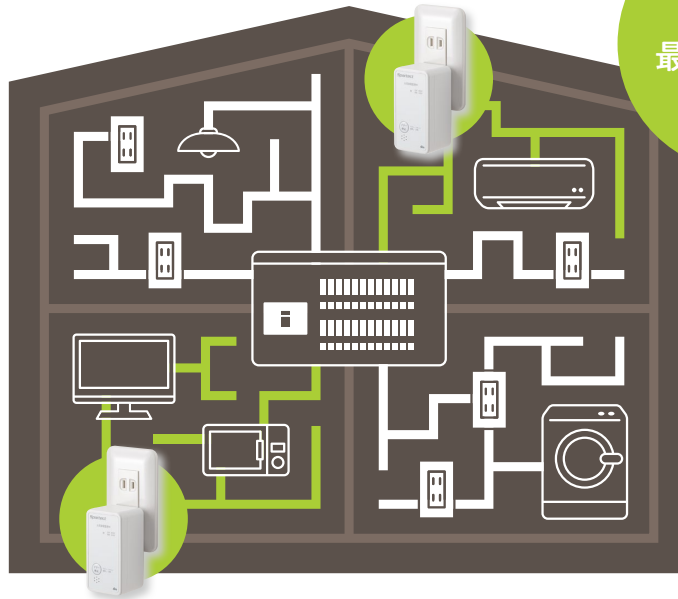
S-JET 認証について

電気用品安全法を補完し、電気製品のより安心安全のための第三者認証制度です。Sマーク付き電気製品は、第三者認証機関によって製品試験および工場の品質管理の調査が行われている証です。製造事業者などによる安全確保に加え、試験基準への適合性が客観的、かつ、公正に証明されたことを示すものです。

重要な回路を監視

検出距離
最大**30m**
(配線長)

気になる箇所、重要な回路を集中的に監視できます。



部屋ごとに設置し、複数で全体をカバー。火花放電が発生した回路の特定が容易になります。

基本動作フロー



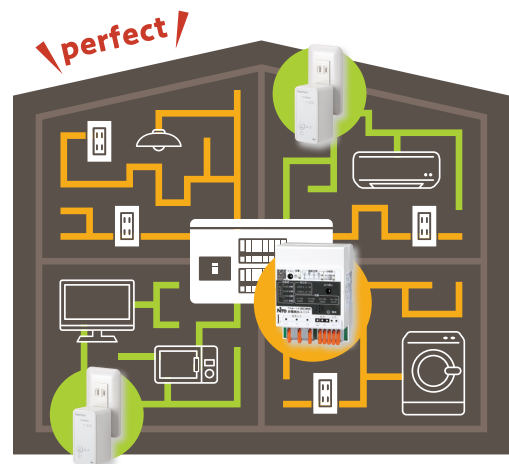
ホコリがたまりやすい場所、
湿気がある場所におすすめ！



冷蔵庫やテレビ、洗濯機などの裏側にあつて、なかなか掃除のできない場所のコンセントはトラッキングが起こりやすいポイントです。

分電盤取付タイプと組み合わせて安全性をアップ！

分電盤取付タイプで建物全体を見守り、火花放電の発生時にはコンセントタイプで発生回路を絞り込めるため、異常にいち早く対処することができます。



電気火災から大切な財産を守るために！

人、モノ、建造物、歴史、記録…どれも社会を支える大切な財産ですが、
気づきにくい火花放電を要因とする電気火災は、人による管理だけでは防ぎきれません。
それぞれのシーンで電気火災を減らしていくために、
放電検出ユニット「スパーテクト」の設置をおすすめします。



用途例

住宅

家の中には多くのコンセントがあり、配線もあちこちに延びていて、どこかで火花放電が発生しているかもしれません。寝室や子ども部屋も気をつけたいところです。



文化財

歴史的な文化遺産は焼失すると取り返しがつきません。文化庁の「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」でも、電気火災の防止対策に言及しています。



小店舗

火を使わない店舗でも、電気設備のトラブルで火災が起きる可能性があります。ショッピングモールや市場のテナントの場合、自分の店だけでは済まないことも…。



飲食店

油を多く使う厨房では小さな火花放電も大変危険です。火災になると、店のイメージ低下やオリジナルレシピの焼失など、保険ではカバーできない損失も。



倉庫

可燃物が大量に保管される倉庫では、小さな火花を見逃すと大きな火災につながります。たとえ火災が小さく済んでも、消火時の放水で保管品がダメージを受けるおそれがある。



畜舎

乾草などでホコリが多い環境はトラッキングが心配です。また、ネズミが配線をかじってしまうことも。特例で火災報知器を設置しない場合は特に用心を忘れずに。



国宝

松本城

〔2023年4月設置〕長野県松本市丸の内4番1号

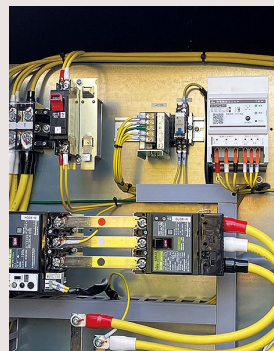
設置
機器

- ・放電検出ユニット「スパーテクト」×1台
- ・感震ブレーカー×1台

設置
場所

天守（国宝）入口付近

五重六階の天守としては最古の大天守をはじめ、国宝の現存天守群が人気の高い松本城。しかし松本地方には活断層があり、2011年の松本地震（震度5強）では天守の壁面や石垣に被害が出ました。その後、様々な面から災害対策が見直され採用へ。



国指定重要文化財

札幌市時計台

（旧札幌農学校演武場）〔2022年12月設置〕北海道札幌市中央区北1西2

設置
機器

- 放電検出ユニット「スパーテクト」×1台

設置
場所

管理事務所

北海道の明治洋風木造建築の代表的なものであり、130余年、街と市民を見守ってきた札幌のシンボリック存在。「文化庁管轄の重要施設への防災対策として、新しい技術を取り入れていきたい」という市民文化局の要請に応えて設置。



国宝

久能山東照宮

〔2020年7月設置〕静岡県静岡市駿河区根古屋390

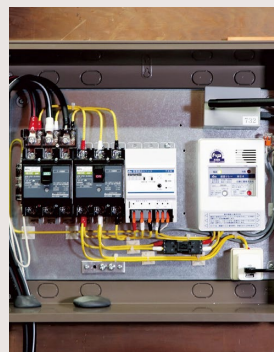
設置
機器

- ・放電検出ユニット「スパーテクト」×9台
- ・感震ブレーカー×4台

設置
場所

御社殿（国宝）、神楽殿（重要文化財）、神饌所（重要文化財）、渡廊など

400年超の重要な文化遺産のため、現地での調査を重ね、久能山東照宮全体を電気火災から守るためにはどの分電盤にスパーテクトを設置すればよいか等、現代の施設とは異なる特殊性を考慮してプランニングし、設置。



事務所

日東工業株式会社

〔2024年7月設置〕愛知県長久手市蟹原2201番地

設置
機器

- 放電検出ユニット「スパーテクト」×8台

設置
場所

本社各事務所、開発センター、技術棟、共用フロアなど

築年数が経過した本社において、配線の経年劣化による電気火災リスクを低減させるため「スパーテクト」と「感震ブレーカー」を導入。見えない箇所が発生する火花放電や地震時の二次災害を未然に防ぐため、自社で検証を重ねた配置で設置。その他全営業所にコンセントタイプを設置済み。



スパークテクト特設サイト



導入、運用、施工の詳細を動画でご覧いただけます。

日東工業 スパークテクト

検索

スパークテクトコンセントタイプ動画



導入、運用、施工の詳細を動画でご覧いただけます。

スパークテクト コンセントタイプ

検索

2つの防災機器を組み合わせて、安心・安全を強化!

放電検出ユニット「スパークテクト」が日常の監視の目なら、「感震ブレーカー」は災害時の緊急手段。どちらも電気火災を未然に防ぐために有効です。

感震ブレーカーとは...

大地震（震度5強相当以上の揺れ）を感知し、自動で電気を遮断します。
不在時や、ブレーカを切って避難する余裕のない場合にも安心です。



感震ブレーカー特設サイト



日東工業 感震

検索



デジタルカタログのご案内

デジタルカタログはカタログをWeb上で閲覧できるコンテンツです。
直感的なページめくりや、検索機能、PDFダウンロードなど機能が豊富です。

日東工業 デジタルカタログ

検索



日東工業(株)の全ての工場(瀬戸工場、菊川工場、掛川工場、磐田工場、中津川工場、唐津工場、花巻工場、栃木野木工場)は、国際規格の品質マネジメントシステムISO9001、環境マネジメントシステムISO14001認証取得工場です。

ホームページアドレス <https://www.nito.co.jp>



JQA-1801



JQA-EM1435



安全に関する
ご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に「取扱説明書」を必ずお読みください。

2026年7月発行

- 本書からの無断転載は固くお断りいたします。
- 当カタログ表記の「標準価格」は弊社希望価格です。
- 本文の価格には消費税および地方税は含まれておりません。
- 価格・仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。
- 本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記載されている会社名、製品名、システム名は、各社の商標または登録商標です。

NITO 日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL (0561) 62-3111(大代)
お客様相談センター/TEL (0561) 64-0152
工場/瀬戸・菊川・掛川・磐田・中津川・唐津・花巻・栃木野木



SP-707

5200.4576 ADP
OM10ILCC23